

# ワークショップ4 医療心理士のためのワークショップ 「呼吸器疾患の病態及び治療と心理社会的視点の理解」

会 期：6月27日（土）9：00～10：30  
会 場：タワーホール船堀 C会場 2F 瑞雲

座長

松野 俊夫（日本大学板橋病院心療内科）

古井 景（愛知淑徳大学心理学部）

【趣旨・ねらい】

日本心身医学会では1991年の第32回学術大会からほぼ毎年心理士を主な対象としたシンポジウムやワークショップが開催され、心身医療の現場における心理士の資質向上に寄与してきました。

2011年の52回大会では、ワークショップとして、「緩和ケアにおける心理士に必要な医学的知識—がん患者における精神症状の評価法・治療法—」、2012年の53回大会では今後訪れる超高齢化社会を見据えて、高齢者及び高齢者医療に関する知識の向上を目的に、高齢者に対する「臨床心理学の展開」をテーマにシンポジウムを開催いたしました。

2013年の54回大会では、「日常診療における“困った痛み”をどう考える？—心理士のための難治性疼痛の理解—」をテーマに、難治性の“慢性疼痛”に対する理解を目的とするワークショップを開催いたしました。さらに、昨年55回大会では、心身医学領域で出会う「感情調節困難な患者への心理的アプローチ」をテーマとして、エクササイズを通して参加者に体験し学ぶワークショップを開催し好評を得てきました。

このように各大会の中で心理士に対する資質向上を目的に実践的なシンポジウムやワークショップを開催してきましたが、今年大会では『呼吸器疾患』を取り上げ、心身医学的配慮の必要な呼吸器疾患の病態と治療法・心理社会的特徴の理解をテーマとしたワークショップを企画いたしました。

ワークショップでは、日本大学心療内科の丸岡先生から、「聴いて見て触れて学ぶ呼吸器疾患」のテーマで呼吸器疾患について、病態とその治療法の概説の他に治療に使われる器機等について、具体的・体験的に説明していただきます。また、神奈川大学保健管理センターの江花先生には、心身相関の視点から「呼吸器疾患の心身相関と心理的アプローチ」について紹介していただくと共に、心理スタッフの役割にも触れていただき、呼吸器疾患に対する心身医学的な理解を深めるワークショップとしたいと思います。多くの心理士の先生方のご参加を希望いたします（医療心理士の先生方は資格更新のポイントとなります）。

■定 員：150名（当日先着順） ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

■受 付 時 間：6月27日（土）8：30～9：00

■受 付 場 所：タワーホール船堀 2F 瑞雲（C会場）前

■認 定 単 位：日本心身医学会認定医療心理士認定更新のための10単位が得られます。

講習会終了時に「受講証明書」を発行いたします。

※途中入場・退場の場合、「受講証明書」の発行はできません。

■そ の 他：コ・メディカルスタッフ以外の参加も歓迎いたします。